

山形県SDGs推進本部会議

日時：令和6年7月23日(火)11:00～
(直前の会議の終了時刻により前後)
会場：県庁502会議室(オンライン)

次 第

1 開 会

2 本部長あいさつ

3 議 事

本県におけるSDGsの推進について

4 閉 会

【配付資料】

資料1 持続可能な「やまがた」に向けて ～SDGs×山形県～

資料2 持続可能な開発目標(SDGs)に関連する主な取組み【令和6年度】



SDGs
とは

SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) は、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のあるよりよい社会の実現に向け、2015 (平成27) 年の国連サミットで採択された世界共通の目標で、2030年までに達成するべき17のゴールと169のターゲット、約230の指標例で構成。
本県では、第4次山形県総合発展計画において、県づくりの基本方向として「県民一人ひとりの希望を実現して、真の豊かさ、生きがい・幸せを実感でき、持続的に発展する“新しいやまがた”の創造」を掲げており、これはSDGsの理念と合致するものであることから、計画に掲げる各種施策の推進を通して、SDGsの達成に貢献していく。

本県のSDGs推進体制等

○SDGsの推進に向けた共同宣言 (R2. 8月)

- ・ 県、山形大学、山形新聞社の三者でSDGsの考え方にに基づき、人と自然の調和のもとで県民誰もが真の豊かさと幸せを実感できる山形県づくりを目指し、互いに連携して行動していくことを宣言

○やまがたSDGs推進ネットワークによる情報発信 (R2. 8月～)

- ・ 上記の共同に基づき、情報発信・交流の場となるプラットフォームとして、フェイスブック上に開設 (山形新聞、山形大学が共同して管理運営)

○山形県SDGs推進本部の設置 (R3. 7月)

- ・ 知事をトップに、全庁一丸となってSDGsの達成に向けた取り組みを展開するため、推進本部を設置

民間との協力事業【継続】

○モンテディオ山形ホーム戦のSDGsブースでの啓発 (R4～)

- ・ やまがたSDGs推進月間中、スタジアムに設置されたSDGsブースでワークショップ等の普及啓発活動を行う。

○やまがたSDGs活動発表会への協力(山形新聞社主催)(R5～)

- ・ SDGs推進に向け、児童・学生による活動発表会を開催し、他学年・他校の発表に触れることでさらなる学習意欲の向上を図る。

○SDGs川柳の募集(第一生命保険との連携事業)(R5～)

- ・ 平成28年に包括連携協定を締結した第一生命保険株式会社と連携し、県民から「SDGs」をテーマとした川柳を募集。SDGsについて考える機会を創出することで、普及啓発を図る。
- ・ 令和6年度は6月28日(金)～9月9日(月)の期間で募集。

○県内メディアの温暖化防止キャンペーン「1.5℃の約束」への協賛 (R5～)

- ・ 「1.5℃の約束」は、国連広報センターとメディアが共同で推進するキャンペーン(令和4年開始)。パリ協定で掲げられた、産業革命前からの気温上昇を「1.5℃」に抑える努力目標の達成に向け、積極的にメディア発信することとされている。県内メディアのキャンペーンに協賛し、SDGsの普及啓発を図る。

○自治体職員向けSDGs研修の実施 (R5～)

- ・ SDGsの視点を踏まえた政策形成能力の向上を図るため、リコージャパン株式会社の有識者から、自治体職員を対象としたリスクリング研修を開催。

今年度の県の取組み

SDGs推進に向けた主な取組み

○高校生を対象としたSDGs推進アイデアコンテストの開催【新規】

- ・ 令和5年度より実施している「高校生アイデアコンテスト」に「SDGs普及部門」を新設。県民のSDGs理解促進・意識向上に資するアイデアを募ることで、高校生がSDGsをより深く考える機会を創出。
- ・ 東北芸術工科大学の学生による伴走型支援を行いアイデアの深掘りに取り組むほか、「若者向け環境SDGsワークショップ」と連携し、ワークショップで学んだ知識をアイデア立案に活用できるよう促す。


○県内自治体の優良事例の横展開の促進【新規】

- ・ 令和5年度より実施している「県・市町村職員合同SDGs研修」において、県や市町村が取り組むSDGs推進に向けた最新事例の紹介・研究を行い、優良事例の横展開を促進する。
→自治体におけるSDGs推進の意義等に関する有識者の講演
→県の置き配普及促進事業や市町村が実施する事業等の事例紹介、情報交換等

○「やまがたSDGs推進月間」(令和6年9月20日(金)～10月20日(日))【継続】

- ・ 国連開発計画(UNDP)等によって設定されたSDGs週間*を含む1ヶ月間を、本県独自の「やまがたSDGs推進月間」と設定し、期間中、官民が一体となって集中的に周知・広報等を行うことで、県民・県内事業者の主体的な取組みを促し、県全体でSDGs達成に向けた機運を醸成。
※ SDGsが国連で採択された9月25日を含む約1週間(令和6年度は9月20日～29日)で、SDGsの推進と達成に向け、世界各地でさまざまなイベント等が開催される。

《「やまがたSDGs推進月間」における取組み内容》

- 県庁・総合支庁、県関係施設をSDGsで彩る取組み 
県庁・総合支庁ロビー等でのパネル展示、県庁舎階段への17ゴールロゴの貼付け 等
- 県内事業者等と連携した取組み
やまがたSDGs活動発表会(山形新聞社主催)【再掲】
モンテディオ山形ホーム戦におけるSDGsブースでの啓発【再掲】 等
- 県民・県内事業者に対する集中的な情報発信
県SNS等での情報発信、市町村広報誌による告知(周知依頼)
やまがた環境展2024の開催(環境エネルギー部) 等



モンテディオ山形
SDGsブースでの啓発

継続する取組み

○県職員による出前講座の実施 (R3～)


- ・ 各種団体における会議等において、SDGsに関する県職員の出前講座を実施。

○県HP、SNSによる情報発信 (R3. 8月～)

- ・ 県HP「山形県におけるSDGs推進について」及びSNSにより、SDGsに関する各種情報を発信するとともに、啓発チラシを掲載。

●：新規 ◎：拡充 ○：継続


1 貧困をなくそう



貧困

- ひとり親家庭支援センターによる総合的な相談・支援、低所得のひとり親世帯への県産米の提供
- 低所得世帯を対象とした冬の灯油購入費等への支援
- 小中学生（生活保護世帯）の通学時の連絡手段確保のための携帯電話等購入支援
- ひとり親家庭の生活の実態等に関する調査


2 飢餓をゼロに



飢餓

- スマート農業技術の活用を通じた産地全体の栽培技術向上及び県内全域への普及促進（環境モニタリングデータの共有等）
- 就農準備・初期段階における新規就農者への資金や機械・施設等設備の支援等
- 東北農林専門職大学の開学


3 すべての人に健康と福祉を



保健

- ◎不妊検査・不妊治療に対する助成（両方への支援は【東北初】）
- ◎修学資金の貸与や医師のキャリア形成支援などによる医師確保対策
- ◎医療的ケア児とその家族への支援体制の充実
- ◎県民一人ひとりの健康づくりのためのウォーキングプロジェクトの展開


4 質の高い教育をみんなに



教育

- 県立高校のDX化の促進及び特別教室等の無線LAN環境整備
- ◎就学支援金の給付、奨学のための給付金の一部対象者の給付額の増額
- ◎将来の地域産業を担う人材の育成のための産業教育設備の整備の充実
- ◎医療的ケアが必要な幼児児童生徒への支援


5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー

- 女性の賃金向上、正社員化、キャリアアップの促進等により働く女性をサポート
- 「やまがたスマイル企業認定制度」による企業におけるワーク・ライフ・バランスや女性活躍等の取組みの推進
- 男女共同参画に関する「県民意識及び企業実態調査」の実施


6 安全な水とトイレを世界中に



水・衛生

- 「山形県水道広域化推進プラン」を踏まえた「庄内圏域水道基盤強化計画」の策定
- 市町村等水道事業者が実施する施設耐震化や老朽化対策等に対する助成
- 水道用水供給事業施設における大規模改修の実施
- 公共用水域や地下水の水質汚濁状況のモニタリングの実施


7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



エネルギー

- 持続的で安定的な電力供給のための企業局水力発電所のリニューアル
- 水素社会の実現に向けた情報発信及び普及啓発、水素関連ビジネスへの参入支援
- 洋上風力発電の導入に対する理解促進を図るための経済波及効果調査の実施
- 再エネ導入に向けた地域の主体的な取組を伴走型で支援


8 働きがいも経済成長も



経済成長と雇用

- XR（クロスリアリティ）を活用した新しいビジネスの創出
- ◎県内企業のDX推進による本県産業の高付加価値化や新たなサービスの創出
- ◎新規従事者への奨励金等の支給や就業体験の実施などによる伝統工芸品等産業への支援
- 就労継続支援B型事業所の工賃向上に向けた共同受注センター設置等の総合的な支援


9 産業と技術革新の基盤をつくろう



イノベーション

- 山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備に向けた基金の造成
- 県管理道路の3次元点群データの収集・整備及び方面点検や災害対応等への活用（道路空間DX事業）
- ◎公共土木施設の長寿命化対策、劣化状況に応じた効果的な道路舗装のメンテナンスの実施
- ICアクセス道路の整備、県管理の国道や県道における道路改良やバイパスの整備


10 人や国の不平等をなくそう



不平等

- 外国人材の受け入れ等に向けた「多文化共生推進プラン（仮称）」の策定
- 「山形県こども会議」等を通じた子ども・若者が意見を表明できる機会の確保
- ◎障がいや障がい者に対する理解促進や支援体制の整備、障がい者の自立と社会参加の拡大
- 多様性が尊重される社会づくり推進セミナーの開催等


11 住み続けられるまちづくりを



持続可能な都市

- 地震による家屋の倒壊から命を守る住宅改修支援
- ◎津波避難路への停電対応型夜間照明の新設・改修支援
- 災害ケースマネジメントの実施に向けた関係機関との連絡体制構築
- 農村RMO形成への将来ビジョンの策定支援や企業・大学等と連携した伴走支援体制の構築


12 つくばない、減らす、再利用する



持続可能な生産と消費

- 「もったいない山形協力店」おいしい食べきりキャンペーンの実施
- マイボトルの利用促進等によるプラスチックごみ削減の推進
- 廃棄物の排出抑制及びリサイクル推進のための整備に対する補助
- やまがた環境展の開催等による3Rを推進する人材の育成


13 気候変動に具体的な対策を



気候変動

- 激甚化・頻発化する豪雨災害を踏まえた治水対策・土砂災害対策の推進
- カーボンニュートラルの実現に向けた取組みとして、脱炭素への理解を深める企業向けセミナーの開催及び宅配ボックスの普及促進による「置き配」の推進
- 熱中症予防啓発及び市町村が指定する「指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）」の周知


14 海の豊かさを守ろう



海洋資源

- 学生ボランティア等による漂着物の回収を通じた発生抑制の啓発
- 飛鳥を舞台とした環境教育事業の実施及び漂着物の回収
- 効率的な漁場選択に向けた利用頻度の高い漁場における海底地形調査の実施
- 岸壁及び防波堤の耐震・耐津波機能の強化、水産環境整備による漁場環境の改善


15 陸の豊かさも守ろう



陸上資源

- ◎蔵王の樹木復活に向けた官民一体となった取組みの推進
- 市町村、地域住民及びNPOが行う森づくり活動等に対する補助
- レッドデータブック改訂に向けた希少野生生物分布調査の実施
- ◎林業人材の育成・確保や県産木材の活用促進


16 平和と公正をすべての人に



平和

- AI機能一体型児童相談所業務支援システムの運用（児童虐待対応強化）
- 「やまがた性暴力被害者サポートセンター（べにサボやまがた）」の運営
- ◎官民一体による特殊詐欺やSNS型投資・マルチ詐欺被害防止対策及び社会情勢の変化に応じた防犯活動
- ◎サイバー犯罪捜査官の捜査能力向上、捜査用資機材の整備

17 パートナリシップで目標を達成しよう



実施手段

- 産学官金で組織されたコンソーシアムとの連携による、県内各分野のデジタル化に向けた普及啓発、人材育成及びデータ利活用の促進
- 「やまがた社会貢献基金」を活用したNPO等の社会貢献活動の支援
- 行政保有の統計情報等のオープンデータ利活用の促進



➢ SDGs（Sustainable Development Goals）は、2015年に国連で採択され、世界が合意した17の「持続可能な開発目標」

➢ 第4次山形県総合発展計画の基本目標の考え方は、SDGsの理念と軌を一にするものであり、同計画を推進することにより、SDGs実現に貢献していく